

# 希望郷いわて国体冬季大会 県民の声

開始式で各都道府県の応援をしてくれた盛岡市立城北小学校のみなさん、スピードスケート競技を応援してくれた盛岡市立杜陵小学校のみなさんから、地元開催の国体を間近で見た感想や本大会に向けての応援メッセージをいただきました。本大会でも、たくさんの応援お願いしますね！！



城北小学校5年  
水澤 萌花さん

みんなで心をひとつにして、気持ちをこめて応援しました。岩手まで来られない人たちの分も、わたしたちが応援してあげるなど、いろんなことを考えることが大切だと感じました。  
本大会でも、岩手の代表として、今までがんばってきた力を出し、悔いのないたたかいをしてください。わたしも皆さんの力に少しでもなれるように応援しています。がんばれ岩手!!



城北小学校 5年  
斎藤 聖矢さん

全国では有名ではない岩手県…というイメージでしたが、開始式を通じて、楽しくてはなやかな岩手県という気持ちになりました。岩手県の選手だけでなくほかの都道府県の選手に届くように大きな声で応援しました。  
国体は何十年に一度の大イベントなので、岩手の選手のみなさん、自分の力をせいっぱい出して競技に参加して下さい。



## 県民の声 スケートアイスホッケー 競技会開始式に参加して



城北小学校6年  
樋山 裕記さん

こんなに大きく、すごい大会だと思っていますでしたが、この開始式に6年生で出られたことは一生に一度あるかないかのこと。すごくうれしいです。がんばって応援しようと思いました。  
岩手の選手の皆さん、今まで練習してきた成果をこの大会で思い切り出して下さい。ぼくたちも精一杯応援するので、岩手のためにも全力でがんばって下さい。

城北小学校6年  
石川 凌太郎さん



横断幕の高さをそろえながら、音楽に合わせて横断幕をふる速さを変えたりするのは大変でしたが、選手が手をふってくれたり、ありがとうと言ってくれたことがとてもうれしかったです。また、会場で準備しているところを見て、みんなで成功させようと思っていることが伝わってきました。国体を開催している県として、本大会でも上位入賞を目指してほしいと思います。今まで練習してきたことを出し切って、どの競技もがんばってほしいと思います。



▶2階席の児童生徒から大声援を受け、手を振って応える選手団 (岩手日報2016年2月28日付朝刊)



めざせ2016  
がんばれいわて



杜陵小学校5年  
松田 翔和さん

スピードスケートをはじめて見ました。テレビとちがって迫力があり、友達と興奮して、大きな声で「がんばれー！」と何回も言ってしまいました。今まで、あんまり「挑戦」をしたことがなかったので、がんばる選手の姿を見て何ごとにも挑戦していきたいと思いました。本大会の選手のみなさん、心が折れそうになっても、かならず応援してくれる人がいっぱいいるので、あきらめないでがんばってください。



杜陵小学校5年  
吉沢 環輝さん

間近でスピードを体験したこと、選手に手をふったら返してくれたことがうれしかったです。負けるな！！という気持ちで応援しました。自分には、なにかを進んでがんばってやろうという気持ちがまだないので、全力で取り組むことができるものをさがして、それを一生けん命に続けていきたいです。秋の国体でも、今まで練習した成果がでると信じています。私たちも全力で応援したいと思います。



県民の声

スピードスケートを応援して



杜陵小学校6年  
加藤 弥生さん

スピードスケートは、思ったより速く、選手が通過したあとの風がすごかったです。岩手県選手がレース後に手をふってくれたとき、自分達の応援は伝わっているんだと知りうれしかったです。大会を見て、もしかしたら、私や他の学年の人も国体に出られるのかもしれないと思いました。私は、岩手県の選手の皆さんのがんばっている姿を新聞やニュースなどで感心して見えています。本大会でもベストをつくしてがんばってください。

杜陵小学校6年  
西川 蓮さん

岩手県選手だけでなく、他の選手達にもがんばってほしいと応援しました。選手たちの活躍を見て、自分もバレーボールをやっているの、あきらめないでがんばって国体に出てみたいです。岩手の選手の皆さん、最後まであきらめずやりきり、すばらしい成績を残せるようにがんばってください。



目指すのは『自然』を含めた  
トータルコーディネート

ISO14001  
認証取得

 宮城建設株式会社

代表取締役社長 竹田 和正

- 本社 〒028-8031 岩手県久慈市新中の橋4-35-3  
TEL 0194-52-1111 FAX 0194-52-1297
- 盛岡支社 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1-13-55  
TEL 019-622-8923
- 八戸支店 〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-15-1  
アーク・フォレスト105号  
TEL 0178-20-0612

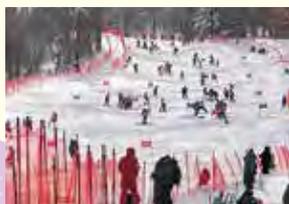
# 希望郷いわて国体冬季大会 県民の声

ボランティアで参加いただいた方、開始式、観戦にお越しいただいた方にもお話をうかがいました。みなさん、地元での国体開催をととても楽しみにされ、国体を盛り上げたいという同じ思いで協力、応援していただきました。本大会でも、県民一人ひとりが「復興の架け橋」になるべく、「おもてなしの心」で全国のみなさんをお迎えしましょう。



八幡平市 高橋沙織さん  
(ライフル射撃競技選手)

ジャンプ競技の選手のサポート役でボランティアに参加しました。  
 地元に住んでいますが、今までジャンプ競技を見たことがありませんでした。間近で選手が目の前を飛んで行く姿に興奮し、感動しました。選手におもてなしをしているはずが、自分達にもおもてなしをいただいたようで心も体も温まりました。  
 本大会では、自分が選手として、地元八幡平市をはじめ、岩手県を盛り上げていけるように出場を目指して頑張ります。



盛岡市 時舘まどかさん  
(八幡平市出身)



今回のいわて国体には、ふるさと八幡平を盛り上げようと、地元から多くの選手が出場し、優勝、入賞と、素晴らしい結果を残してくれました。また、役員をはじめ、高校生やリンドウ生産者など、その他多くの八幡平市民がサポーターとして働き、地元のみなで作り上げた、素敵な国体になったように思います。  
 雪が少なく大変苦労しましたが、無事大会を終えることができ、ひと安心です。  
 競技を見ていて、もう一度走りたい…と、いう気持ちになりましたが……。  
 これからの子どもたちに期待して、サポートにまわりたいと思います。



盛岡市 杉江幸子さん

家族で開始式、スピードスケート、ジャンプの応援に行きました。会場で「おふるまい」をいただいているときに、他県の二人連れの方と相席になりました。会話もなく召し上がっていらしたので、思い切って声をかけてみましたら、沈黙から一転！パーッと顔が明るくなり、天候のこと、岩手の食べ物のこと、観光のことと話が弾みました。地元の人とのふれあいは嬉しいもの。「おもてなしの心ってどうやって伝えたらいいのだろう」と難しく考えていましたが、このちょっとした会話も、「おもてなし」なのかもしれません。秋の国体でも全国から大勢の方が訪れます。近くに他県の方がいたら、恥ずかしがらず、またこちらからひと声かけてみたいと思います。



安代中学校3年 工藤稀凜さん

今回の地元国体では、普段見ることのできないような熱戦をみることができ、とてもいい経験をすることができました。また、地元選手の滑りや飛ぶところなどを間近でみて、国体の素晴らしさや地元国体に対する熱い思いを感じることができました。またいつか、岩手で国体が開かれて欲しいと思いました。

